

社会福祉法人日本聴導犬協会 2017 年(平成 29 年)度事業報告書

2017 (平成 29) 年 4 月 1 日～2018 (平成 30) 年 3 月 31 日まで

2017 年度事業報告書	
社会福祉事業について	
1	<p>I. 聴導犬・介助犬事業</p> <p>2017 年度認定者数:計4チーム(聴導犬2チーム。介助犬 2 チーム)</p> <p>※2017 年度中に、合同訓練に入られたチーム数は 7 チーム(聴導犬 3 チーム。介助犬 4 チームでしたが、聴導犬 1 チームと介助犬 1 チームは事情で 18 年度へ延期。介助犬1チームは、ご家庭の事情で断念されました)でした。</p> <p>■認定合格チーム:</p> <p>聴導犬まる⇒ ご子息 (埼玉:タンデム)</p> <p>聴導犬てい⇒ 会社員女性(東京)</p> <p>介助犬でん⇒ 主婦(長野:介助犬ユーザーとしては最高齢 長野県知事表敬訪問)</p> <p>介助犬アイボリー⇒ 男性(神奈川)</p> <p>※参考までに 2016 年度認定:聴導犬4チーム</p> <p>II インターネット関連 実施</p> <p>① インターネット活用→Sales フォース勉強会に 2 名参加</p> <p>② インスタをはじめました。</p> <p>③ 独自の募金展開を予定→ 企業 F 様が聴導犬普及のための募金および普及活動に協力してくださいませ。</p> <p>④ LC および RC への広報と、募金箱の設置を依頼予定</p> <p>⑤ 会員限定の特別頁を開設できませんでした</p> <p>III. 本部と事務所:</p> <p>(1)東京事務所 → 東京支部(聴導犬訓練事業ができる訓練所)として 2018 年 2 月 9 日で東京都が申請受理</p> <p>(2)関西事務所 → 2018 年度以降で芦屋近辺での仮店舗にて支部展開開始予定</p> <p>※現在:支部の施設準備金として約 2700 万円を積み立てました。</p> <p>(3)本部:(福)日本聴導犬協会「元気いっぱい聴導犬・介助犬訓練センター」→創立 20 周年記念(9 月 8 日)のための施設内修繕清掃終了</p> <p>(4)東京支部の東京都への申請時のための施設整備→犬を遊ばせる空間創りのための柵設置。ウンチの処理のための特別ゴミ処理機設置)</p> <p>IV 聴導犬・介助犬希望者:</p> <p>(Re:2017 年度問合せ 31 件。そのうち相談・面接 16 組うち 4 チームが補助犬認定試験に合格。現在 10 名が相談継続中または訓練中。広報は各地での 100 回以上の講演会および全国3カ所での「聴導犬・介助犬なんでも相談室」での実施。問合せ者の 10～15%が認定試験受験、ほぼ 100%合格。※2016 年度聴導犬 4 チーム。2015 年度 3 チーム合格(40 件の問い合わせ中、相談・面接 29 名。2014 年度 2 チーム合格(30 件の問い合わせ中相談・面接 26 名のうち2チーム合格)</p>

2	<p>◆収支:一般寄付を増やすために、SNS および Loppi、かざして募金、canpanカード決済。クラウドを活用したイベントへのお誘いなどをこまめに行った。引き続き、聴覚障がい関係諸会に向けて資料を送付→東京、神奈川などの聴覚障害者団体でのデモンストレーションが実現予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業活動:カードポイントに関連する企業への営業→できませんでした ・2017年度(平成29年度)収支 総額6665万円(含むご遺贈10117864円、助成金50万円) <p>社会福祉法人事業:5731万円(前年比約270万円↓ 理由:昨年は助成金で420万円があり、それを除けばほぼ同額のご寄付となります)</p> <p>公益事業:934万円(前年比約180万円↑)</p> <p>※2017年 大口(100万円以上)寄付:6件(500万円1件)。新規の支援企業→F様(Re:2016年度は、総計約6800万円(含:遺贈約1500万円 助成金約420万円))</p>
	<p>■協会犬:2018年3月現在 協会犬52頭のうち39頭が在籍</p> <p>①「聴導犬候補犬ネットワーク」を全国の動物愛護センターならびに保護団体と繁殖家から合計18カ所(新規:宮古島動物保護団体)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新家族(補助犬にならない候補犬の里親):8頭譲渡 ・新規候補犬:9頭(聴導犬6頭。介助犬3頭:うち保護犬は3頭) ・「新家族」:8頭譲渡。引退犬2頭天国へ転居 ・より良い候補犬繁殖は、中断。 <p>※2018年3月末日現在:協会所属犬39頭</p>
4	<p>◆講演会:総数207(含む来所デモ57回)</p> <p>バスツアー(2017年度57件)のための資料充実、魅力的なチャリティグッズの作成を実施</p> <p>→例:駒ヶ根観光協会様とのコラボ</p> <p>教育関係で講演:昨年と同数でした。大学・専門学校等の講義および獣医師関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用数:2954名様(含む研修および職場体験は11カ所から11名が来所)
5	<p>◆ユーザー:2017年認定4チーム(合同訓練に入られたのは7チーム。2018年度は聴導犬2チーム。介助犬2チーム予定。希望者を増やす広報の充実を行う</p>
補助犬認定に関して	
6	<p>認定試験実施:4チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅での試験(体調の変化が著しい介助犬希望の場合など)実施 ・兵庫県依頼で、審査および認定試験を担当予定
7	他団体からの認定試験→なし
8	・日本聴導犬協会の認定試験は年2回(5月か10月と2月)の2度試実施したい
候補犬の確保	
9	<p>「聴導犬候補犬ネットワーク」へのご協力をお願いしている団体</p> <p>全国18カ所:宮古島の動物保護団体が加わる。適性のある候補犬がいる場合は連絡をもらい、候補犬を探させていただくネットワーク。今後も良心的な保護団体からの協力をはかる(ネットワーク活性化のために助成金AMへの申請予定)</p>
10	繁殖計画:専門家の手助けがあるまでは中止
11	<p>新家族:2017年度は8頭</p> <p>(Re:2017年度決定8頭譲渡:(こふじ、ふく、ゆう、きち、れん、こりん、けん、あぷりい))</p>
12	関係諸動物愛護団体との相互リンク→未定

	聴導犬・介助犬を増やすための普及活動
13	・各地の聴力情報センターでの広報活動協力のお願い⇒福井、横浜、東京でデモを実施予定 ・「聴導犬・介助犬なんでも相談室」定例開催
14	イベントは実施できませんでした
15	V:『全日本聴導犬ユーザーの会』との協働 ① 長野、東京、大阪『聴導犬・介助犬なんでも相談会』で、メンバーが希望者の相談を行う ユーザーが自主的に地元でのイベントを企画、普及活動を計画。摂津まるごと。大阪み みの日など。個々のユーザーから協力も活発にしたい ② 摂津まるごと。大阪みみの日。全国ろうあ者大会など、聴導犬ユーザーさんの協力を得 られた。
16	VI: インターネットの活用 サポーター会員限定の特別頁を作成し更新。 Facebook「日本聴導犬協会」(いいね 22000)と「補助犬と応援団」による聴導犬・介助犬の 普及活動を実施。 Facebook「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」で入学生募集 インスタをはじめました。 ホームページを更新。2016年12月アップ済み
	助成金・補助金
17	◆2017年度は3件の申請予定 ① WAM⇒ できませんでした ② 郵便年賀⇒ 車申請→不採用 ③ その他 ⇒予定:オリンピック&パラリンピック時の補助犬受入れ事業 AAAの養成 (Re:2016年度は申請3件(予定4件)申請済み結果待ち) ④ JKA300万円(シニア対応犬研修) →不採 ⑤ 年賀寄附 400万円(車) → 不採用 ⑥ 伊那谷基金 30万円(ゴミ処理機) → 決定
	教育への寄与
18	◆日本聴導犬・介助犬訓練士学院 9期生入学⇒3名とユーザー希望者3名→スタッフ採用1名。業務委託採用(ユーザー)2名 補助犬に関する授業:前年度どおり国立身体障害者リハビリテーションセンター学院、2 大学、専門学校での授業を実施 ⑦ 職場体験&研修生受入れ:11校。積極的 に実施。日本福祉大学、日本獣医生命科学大学、帝京科学大学、帝京科学大学と専門学 校からの研修生の受入れ実施
19	関西事務所の営業:地元 LC 様による事務所近辺学校への普及啓発活動の説明実施。 芦屋市長への表敬訪問実施/ 地元小学校でのデモ実施/ 銀行の開設
	公益活動
20	講演会・研修会・デモンストレーション ・2017年度 207(含むバスツアー57件)回実施。研修&職場体験 11校(104名参加) (※参考 2016年度はご来所バスツアーによるデモは 56回)
21	「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」 第9期生 3名+ユーザー3名うち2名卒業+ユーザー2名修了 第10期生(定員5名)2名入学 海外研修はできませんでした

22	<p>Pro-Dog School(日本聴導犬協会による地域社会貢献活動):34組。(例年30組前後の地元愛犬家を中心とする受講者が参加し、次の愛犬家を育てるためのインストラクターを担っています。県の監査からもこの地元愛犬家を育てる良循環は高く評価された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬同伴避難テントを購入したい予定
	<p>パブリシティ</p>
23	<p>SNSでの展開:Facebookの他、スタッフ3名もTwitterでの参加をし、インスタを開始。SNSを盛り上げています。新図書:未定/20周年記念冊子作成中</p>
	<p>事務所の運営</p>
24	<p>I:関西事務所はデモや研修会の際に利用。地元LC様による教育委員会や聴導犬支援へのお願いを行っていただいております。</p> <p>(Re:2016年度の実施報告:関西方面ユーザー4チームの訓練とアフターケア/候補犬選別の関西での足掛かり/希望者の面接/地元LC式典(2月招待)参加/兵庫県での学校関係でのデモ実施</p> <p>◇「支部」化について:</p> <p>関西事務所→2018~20年までに施設建設</p> <p>理由1 関西事務所としてボランティアさん宅の3階(72㎡)を借用。期間に期限がある。</p> <p>理由2 関西方面でのユーザー4組と増え、今後も増える予定であることから、アフターケアや訓練、相談業務の継続のため</p> <p>理由3 一般寄付を増やすために都会に近い環境での協会犬の社会化を兼ねた広報の必要性がある</p> <p>理由4 優秀な人材の確保(※支部建設に向けて準備金の呼びかけを開始。関西支部用通帳を作成。約2700万円を積み立)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活性化:地元のLC様が地元の小学校等への広報や支援の呼びかけを行ってくださっています。また、広報支部長と共に、市長、市役所、他のLC様への表敬訪問を予定している)
25	<p>II:東京支部:オリンピック時の海外からの補助犬ユーザー受入れ要望を受けました。</p> <p><2018年2月9日付けで「訓練事務できる施設(東京支部)」として東京都から受理></p> <p>施設長MAYUMI.事務局Tさん。訓練スタッフOさんが担当。すでに稼働中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の広報支部長のおかげで聴障協と関連構築 ・関東方面のユーザー訓練を実施する予定 ・2017年度に東京支部となりました。 <p>(Re:2016年実施報告:関東方面ユーザー6チーム相談とアフターケア/ユーザー希望者2名自宅指導のために利用/希望者の面接/聴覚障がい者関連普及事業での使用)</p> <p>① 候補犬の社会、訓練</p> <p>東京事務所→2017年に支部化。都が受理</p> <p>理由1 オリンピック時の海外からの補助犬ユーザー受入れを打診されたことから</p> <p>理由2 東京および関東地区での希望者の増加に対応</p> <p>理由3 現在、協会関係者から自宅を借用しているが借用期限がある</p> <p>理由4 収入を増やすために、東京での支部化は不可欠である</p> <p>理由5 指導監査で、東京事務所の家屋の「無料化」または協会による「買取り」か「移動」を指導された活性化→広報支部長と一緒に地元市長、市役所、地元ライオンズ様などへの表敬訪問させていただきました</p>